

島根県精神当事者連絡会55号



ほっしーフィッシングチャンネル
46センチ、千ヌです。

編集部のほっしーが釣りに
行き釣果upしていきます。
腕はへっぽこ、心はガラス
細工のほっしーです。

ここは編集部の趣味や
興味があるものを紹介
するスペースです。

cafeさくら



会報誌特典

会報誌見たとCafeさくら
さんに言えば一回限り
100円、割引が
ききます。

障がい者雇用を理解ある cafeさくらにお邪魔しました。

店長あきさんの話

Nさんはcafeさくらに通ううち、常連のお客さんになった。店長さんはその時は病気の事を知らなかった。相談員とNさんから病気の事をオープンで働きたいと相談され、店長さんは心より承諾。しかし不安もあった。しかしNさんの熱い気持ちに揺り動かされ、最初は10日間実習をしてそして店長さんが、もう10日間で色々な人と話合いで決めた。迷いはなかった。そして本人のCafeを経営したいという気持ちがリンクし、初心をおもいださせた。Nさんには、仕事を1ヶ月まるまる働いたら病気がで一週間まるまる休まれてしまった。相談員がいるので相談して時給800円、5時間働いて1時間休憩からはじめた。月10万位になるという。店長としてはぜひ夢を応援したい気持ちが溢れ、一緒に働くのがとても良い刺激になる。時に厳しく時に優しくはじめは障がい者雇用に戸惑ったが今思えば乗り越し苦労だった。職員さんとは、密に連絡を取り、今ではCafeに馴染んだ感がある。しかし障がい者だという事で特別扱いはしないようにしている。社会にでたら特別扱いはないのだから。お店を始めて10年、障がい者雇用したことで新しい発見もあり夢を掴んで欲しいと思うように気持ちはうごいている。

編集部、メンバー紹介

編集長 ほっしー

副編集長 ティー

編集部員 おかちゃん

店内と料理です



当事者につちゃんの話

Nさん作業所での通所歴3年半。Cafeさくらに行きマスターの入れるコーヒーの味に惚れる。通ううちに自分もCafeの経営を希望するようになる。それを夢とし現実とすべく、Cafeで働く事を希望するようになる、施設の相談員に相談、飛び込みでCafeさくらに雇用してもらう。相談員無しでは叶わなかった夢だったかもしれない。1ヶ月、がむしゃらに働くも病気でダウン。一般就労の洗礼を受ける。そこで己を知ったけれど夢の為に相談員、店長と話合いで時間を調整。2回戦で見事に仕事をこなすようになった。先生からは普通に見えてしまう事で別の苦労があるとつげられる。夢の途中ですよ、今は・・・でも必ず・・・

編集部、699-0611
出雲市斐川町阿宮132
ほっしーの企画室まで

編集部に投稿して
みませんか？
採用されたらこの
会報にupされます。